



## 取引先向けのレポート作成にWebFOCUS 1,000名を超える全社営業の 情報活用基盤を構築

幅広く生活必需品を取り扱う卸売商社の株式会社あらたは、取引先の小売店ごとに作成していた販売実績の報告書をWebFOCUSでレポート化しました。手間や時間をかけず、またスキルを問わず見栄えの良い資料を手軽に作成できるようになり、営業活動の効率化を実現。さらには、WebFOCUSを標準のWebレポートツールとして位置付け、経営ダッシュボードなどへの活用も視野に入れています。



### 株式会社あらた

化粧品・日用品・家庭用品・ペット用品など多彩なジャンルの商品約8万アイテムを取り扱い、日本国内のみならず海外にも事業を展開している卸売商社。

本社：東京都江東区東陽6-3-2 イースト21  
設立：2002年  
資本金：50億円  
従業員数：連結2960名、単体2174名（正社員、2013年3月期）  
URL：http://www.arata-gr.jp/

（取材日：2014年2月）

### POINT

WebFOCUSの集計レポートで、  
取引先に質の高い情報提供を実現

毎月数時間費やしていた営業資料  
作成工数を1/5~1/10程度に削減し、  
営業活動の大幅な効率化を実現

高い開発生産性を評価し、  
社内のWebレポート  
標準ツールとして標準化を推進

### 課題

### 対策

### 効果

- 営業が毎月数時間を費やす報告資料作成業務を効率化
- 個人の資料作成スキルに依存しない高品質な資料を作成できる環境の整備

- 販売実績を取り込んだ高速データウェアハウスにWebFOCUSを連携、営業資料作成に活用
- 講習受講、スキルトランスファーによりノウハウを蓄積し、自社内で開発に取り組む
- 開発標準を策定し、開発者向けに順次トレーニングを実施

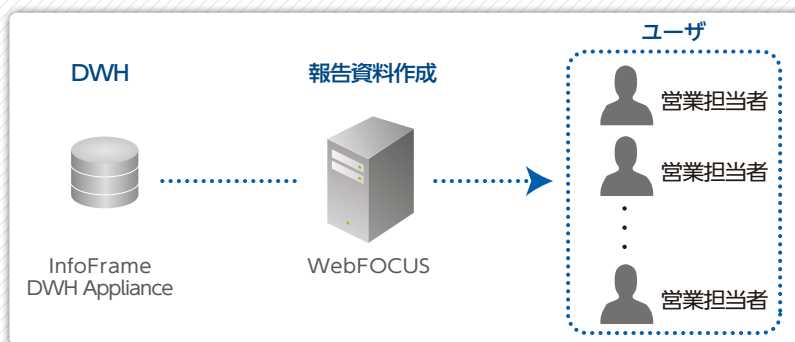
- 高品質な帳票を即座に作成できるようになり、資料作成時間を大幅に短縮
- 営業担当者全員に共通の報告資料作成ツールとして業務の標準化に寄与
- 高い開発効率を実現し、社内のWebレポートの標準ツールとして今後さらに活用を拡大

業種：卸売業  
データソース：InfoFrame DWH Appliance  
利用業務：全社営業の報告資料作成

協力パートナー：

Empowered by Innovation

NEC



# WebFOCUS

## 月次の報告資料作成業務の負担軽減と効率化が課題

2002年4月、ダイカ株式会社、伊藤伊株式会社、株式会社サンビックの経営統合により誕生した卸商社の株式会社あらた。統合時に新規構築した基幹系システム「GENESIS」の機能強化プロジェクト「GENESIS-NEXT」に取り組み、間もなく完了を迎えます。

機能強化の1つには、社内でデータを活用する基盤がありました。以前から社内で使用しているデータウェアハウス（以下、DWH）は、データ量やユーザ数の増加に伴ってレスポンスが低下しており、利用の集中する月末などには長い待ち時間が発生するため、やむなく利用制限を設けるまでになっていました。その対策として日本電気株式会社（以下、NEC）のDWHアプライアンス製品「InfoFrame DWH Appliance」（以下、IDA）を導入し、大幅なレスポンス改善を実現、待ち時間もほぼゼロを達成しました。

必要なデータを得るための環境が改善され、次のステップとして、データを見せる環境の整備に取り組みました。取引先に対する情報提供は、メーカーと小売店を結ぶ卸商社として重要な役割です。あらたでは、営業活動の一環として、取引先小売店などに商品カテゴリ別の売上集計などをまとめたレポート「概況報告書」を毎月提供しています。数字をビジュアル化したレポートを作成するため、各営業担当者がDWHから必要なデータを抽出し、MS-Excelなどに取り込んで加工していました。

## 「レポートの効率化」に目的を絞り、WebFOCUSの採用を決定

こうしたレポート作成の手間を軽減できないだろうか。システム本部 統合システム部 部長の山田英幸氏は次のように語ります。

**山田氏** 営業担当者は数社の担当取引先に対し、5つの商品カテゴリ別の売上推移などをまとめており、1人あたり1か月に数時間をレポート作成に費やしていました。



山田英幸氏

以前から自社開発のデータベース検索ツール「dbQuest」があり、社内のあらゆるデータソ-

スから必要な情報を抽出するためのツールとして、広く用いられていました。ただ、dbQuestには抽出したデータをレポートにする機能がありませんので、データを「取る」から「使う」システムを提供したいと考えていました。そこで、DWHからデータを検索して集計し、グラフ作成や報告書の体裁に整えるまでを自動化できるレポートツールを、dbQuestとは別に導入することにしました。

ツールはIDAに接続させるため、ツールの選定を含めた提案をNECに依頼。データ活用とレポートの効率化を重視した結果、WebFOCUSの採用を決断しました。

**山田氏** 候補は4つありました。最初に価格面で2つの候補が脱落、残った2製品はほぼ同等という評価でしたが、ベンダーの信頼感が異なりました。一方はよく知らないベンダーでしたが、もう一方のアシストは何十年も前から知っており、以前かなりお世話になったことから、信頼を寄せられると考えました。また、エンドユーザにとっての使い勝手の良さも決め手になりました。

## 作成時間の節約だけでなく精神的負担も軽減 高い開発生産性も高評価

WebFOCUSによるレポート環境の開発は2013年1月より開始し、10月にカットオーバーを迎えました。エンドユーザは、グループウェア経由でWebFOCUSにアクセスしており、社内では、このシステムをそのまま「WebFOCUS」と呼んでいます。

**山田氏** 条件を指定するだけで誰でも簡単に、ほとんど待つこともなく、レポートを作成できるようになりました。社内からは『こういうツールを待っていた』『ありがたい』という声が多く聞かれますね。システム部で営業担当者のレポート作成の効率化を試算したところ、時間の節約が相当なコスト削減に換算できました。また、人によってはMS-Excelでの作業が精神的ストレスにもなっていたと思います。そういう面でも重荷を取り除き、本来の活動への集中にも役立ったと思います。

なお、WebFOCUSによるレポート開発は、基本的にあらた社内で行うことになっています。最初はスキルトランスファーを兼ねてアシストが開発を支援しましたが、運用開始時点の9帳票のうち半数ほどはあらたで自社開発しました。山田

氏は次のように評価します。

**山田氏** 最初にレポート作成を担当したのは、比較的若手の社員で、WebFOCUSはわかりやすいツールだと評価していました。他の新人向け開発ツール講習には2ヵ月ほどの期間をかけているのに対し、WebFOCUSは5日間ほどで済む見通しです。生産性は間違いなく上ですね。

## WebFOCUSを社内の標準開発ツールに

あらたでは今後、WebFOCUSのレポートの改良や追加開発を随時行い、他の業務にも適用範囲を広げ、経営ダッシュボードとしても活用していく予定です。

**山田氏** あらたでは、Java、PL/SQLに並ぶ開発ツールとしてWebFOCUSを位置付けています。数多くのレポートを作成していくので、スタッフへのトレーニングはもちろん、誰が見ても同じように作成できるようにWebFOCUSでの開発標準も策定しているところです。

開発標準では、WebFOCUSの位置付けに始まり、社内で使っている他のツールとの差異を示しています。細かなところでは配色や部品の配置、チェックボックスとラジオボタンの使い分け基準、エラーメッセージの書式などを定めています。開発標準に目処がついたのを受け、部内の開発者トレーニングも開始しました。

WebFOCUSのレポート自体が、業務標準化を進めるためのツールになっています。これまでのMS-Excelによる作業では、支社や支店など現場レベルでアレンジされた雛形を使用しているケースもありました。しかし、WebFOCUSでは全営業が同じレポートを使うことになり、そのような違いが解消され、誰が担当しても一定水準の品質で仕事ができるようになったのです。

**山田氏** 最初にGENESISを構築した時、すなわち経営統合で当社が誕生した時から、全社最適の実現を図り、経営に資するシステムの強化に今後も取り組んでいきます。



お問い合わせは **株式会社アシスト**

URL <http://www.ashisuto.co.jp/product/category/bi/webfocus/> E-Mail [ibi@ashisuto.co.jp](mailto:ibi@ashisuto.co.jp)

|                                            |                  |                                             |                  |
|--------------------------------------------|------------------|---------------------------------------------|------------------|
| 東京 〒102-8109 東京都千代田区九段北4-2-1 市ヶ谷東急ビル       | TEL:03-5276-3653 | 大阪 〒530-0011 大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪タワーA 13F | TEL:06-6373-7113 |
| 札幌 〒060-0003 札幌市中央区北3条西4-1-1 日本生命札幌ビル 13F  | TEL:011-281-1161 | 広島 〒730-0011 広島市中区基町12-3 COI広島紙屋町ビル 3F      | TEL:082-224-6170 |
| 仙台 〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-1-20 花京院スクエア 19F   | TEL:022-713-5802 | 福岡 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-6-1 九勤筑業通ビル 9F     | TEL:092-481-7156 |
| 名古屋 〒460-0003 名古屋市中区錦1-11-11 名古屋インターシティ 4F | TEL:052-232-8211 | 沖縄 〒900-0014 那覇市松尾1-10-24 ホークシティ那覇ビル4F      | TEL:098-943-2276 |
| 金沢 〒920-0853 金沢市本町2-15-1 ポルテ金沢 8F          | TEL:076-260-4921 |                                             |                  |